

東総地区中学生海外派遣

海を越え 新しい友達と出会いう

国際理解教育の推進を図るため、東総圏域内で行っている中学生海外派遣に、光中学校から2名（市原雅信君・古川裕美さん）が参加しました。7月23日から27日までの5日間、シンガポール・マレーシアの習慣の違いや、さまざまな交流を体験しました。

シンガポールの 思い出

市原 雅信
(2年)

強をする事ができました。

一番印象に残ったのは、
ウィットリー中学校の生徒
と交歓会をした事です。ウイッ



ウィットリー中学校の生徒たちと楽しい交歓会
(左端が市原君)

トリー中のひとたちは、民族舞踊を披露して歓迎してくれました。僕たちは、シンガポールの歌と銚子大漁節、そして代表による剣道の発表をしました。

僕が一番緊張したのは、大漁節でした。はっぴを着て、少しあずかしいと思いつながら踊りました。途中からウイッ

トリー中学校の人たちも仲間にさそつて、みんなで踊り始めました。みんなで地面を滑るように加速して飛び立ち、よく揺れるしそうに踊つてい

ました。いつの間にか僕も、みんなと夢中になつて踊つていました。

夕食会の時も、少しの英語ですが話しながら食事ができ、とても楽しい一時を過ごせました。ウイットリー中学校の人たちが帰りの空港まで見送りに来てくれた



しました。事に感激しました。

多民族国家で、気候も言葉も違う国へ行き、僕は新しい出会い、経験、思い出をたくさん作ることができました。本当に最高の5日間でした。これらの経験を過ごせました。



中学校の人たちが帰りの空港まで見送りに来てくれた

と思います。

B&G海洋体験セミナー

大自然に触れ 未知の体験に感動

海洋体験セミナーが、8月26日から30日まで沖縄県で行われ、関東地区と関西地区の小中学生96名が参加し、マリンスポーツや野外活動を体験しました。町からは、加瀬弘幸君と向後夏紀さんが参加しました。

マンゴローブの森 で自然観察

加瀬 弘幸
(南条小 6年)

耳が変になった。これが飛行機か、と思った。

このセミナーで一番印象に残っているのは、3日目の午前に、沖縄北部の「やんばる」と呼ばれている地

域の慶佐次川で、自然体験活動としてマンゴローブの森の観察をしたことだ。

最終日は、バスで首里城公園を見学しました。首里城はとても大きかったです。見学後、お昼に沖縄そばを食べました。ふつうのめんとは違つておいしかったです。

3日目は、まずナゴパイナップルパークに行き、その後に、大浜ビーチに行つて泳ぎました。海はとてもきれいだし、冷たくて気持ちよかったです。

最終日は、バスで首里城公園を見学しました。首里城はとても大きかったです。見学後、お昼に沖縄そばを食べました。ふつうのめんとは違つておいしかったです。

沖縄でマリン スポーツ体験

向後 夏紀
(東陽小 6年)

8月26日に、沖縄に行きました。沖縄に着いたら、バスで今帰仁城址を見学しました。

2日目は、海洋レクリエー

ション活動をしました。カヌー、ヨット、サバニ、ディンギー、バナナボートなど

をやりました。その中で一番楽しかったのは、「バナナボート」です。バナナボー

トに乗つて走り出したらす

ごく速くて、水しぶきがたくさん飛びました。2番目に楽しかったのは、「サバニ」です。サバニは、こぐ

のが大変で、たまに揺れてちょっとこわかったです。

でも、乗つているとくらげ葉も違う国へ行き、僕は新しい出会い、経験、思い出をたくさん作ることができました。本当に最高の5日間でした。これらの経験を活かして行きたいと

思います。

